

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 年 月 日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

・ご利用者以外で、いつもと様子が違うなど情報を聞いた時には様子を見て、ご利用者宅を訪問・送迎後など近くを通る時には様子伺いに行く。まずは、挨拶から始まり顔なじみの関係を作るようにする。
・次年度は、曜日を決めて地域に出向き、ご自宅を訪問できるようにする。(新規ご利用者に繋がるように)

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	4	1	3

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	3	1	
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	3	1	1
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	3		1
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	3	2	1

できている点

① 情報共有や、パソコン・申し送りノート、他職員からの情報などを共有できている。
② 本・家族からのニーズを把握して、サービス提供者側としてできる事・できないことを明確にし、必要とされる支援をできるだけ対応するようにしている。
③ ご利用時には、様子を伺ったり、家族からも聞かせてもらっている。
④ 話を聞いたりして、アドバイスなどもしている。
朝のミーティングで、今日自分がすることを言いあって確認したり、共有しておくべき情報を伝えている。
なぜサービスを利用しているのか、その目的や何かを支援している。
慣れていない時期には、なるべく話を聞くようにしたり、なるべくことから話しかけるようにしている。
送迎時や訪問時など家族様がおられるときには話を聞いたり、こちらからも声掛けもしている。
①情報を聞いた後、ご本人を見かけることがあれば、さりげなく様子を見せていただいたり、ご本がサービス利用を拒んでおられるようなときには、ご本人にサービス利用をすすめているまわりの方に声掛けを行った。
① 情報やニーズは、ミーティングだけでなく、情報提供票等で共有できている。
② ニーズをうかがい、ケアマネの立てるプランを支援できている。
③ できるだけ一人にならないよう声掛けを行ったり、事業所内の説明を安心していただけるようにした。
④ 何か問題があれば家族に連絡し事業所内の説明をして安心していただけるようにした。

できていない点

①認知症安心サポート相談窓口に来られ、話を聞き、包括にサービス導入の話や何か関りかできる方法を提案したが、相談者と本人の思いが異なるため、ご利用者宅を訪問などができなかった。
①曜日を決めて地域に出向き、自宅訪問ができていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

①相談者から、とりあえず話を聞いてほしいといわれ、それ以上は本人が望んでないので今日は良いというようなことを言われたために、踏み込んだ提案ができなかった。

②職員体制もあり、新規を増やさないとという流れになっているから。

スー①

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 年 月 日

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	
・ケアプランを作成する際、モニタリングで出た意見をプランに反映させる為には、職員一人一人が関わりを持つ事で、ご利用者の目標となる部分を会話の中からキャッチでき、職員同士意見交換できる場を作り(ミーティング等)目標に向かって支援できるようにする。又、作成されたケアプランについても、各自で目を通すようにする。	

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	3	4	1

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	5	1	2
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	1	2
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	2	1
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	2	1

できている点
<p>③本人の目標がなかなか聞き出せない、特にないなどあるが、得意とすることや、やってもらえそうなことを継続して行っている。</p> <p>④ ③以外に新たな発見があれば、ミーティングなどで伝えている。 ミーティング・カンファレンスで意見交換できた。 利用者様同士の会話や直接話をしている中で「～したい」事などお聞きすることができた。</p> <p>①お一人おひとりのプランまでは頭に入っていますが、カンファレンスで耳にしているので、出来ていると思います。</p> <p>① わかっているつもりです。 ② 「したい」と言われることに近づけています。 ③ わかっているつもりで取り組ませてもらっています。 ④ 活かせるように伝えています。</p> <p>ケアプランをもとに目標や目的を把握して、どういった関りを持っていけばいいか考えている。 ケアプランについては目を通すようにしている。 個別に本人の楽しみや得意なこと、できることをきちんと引き出し、活かせるように関わっている。 一緒に楽しみを共有している。 ご利用時の会話で、本人様の気持ち等を聞いている。 関わった内容はミーティングで発言はできるようになった。</p> <p>①ご利用者との会話の中で、目標となる部分に気づいたらミーティングで話したり、カンファレンスで伝えるようにしている。</p> <p>① カンファレンスで確認したり、日々の援助内容が目標につながっていると思う。 ② 日々の援助内容が目標につながっていると思う。 ③ 援助内容から目標につながっている。 ④ 関りの中で、何かあればミーティングで話したりねカンファレンスを行い、パソコン入力し全員に伝えるようにした。</p>

できていない点

- ⑦ケアプランでは、確認できていないが、パソコン上で目標など対応の仕方を把握している。
- ⑧ 本人様の目標がなかったりするご利用者も多々おられるため、ゴールがはっきりとわかっていない。実践内容については、ミーティングで伝えているが、振り返りや次の対応に活かせていない。ミーティングが報告のみで、終わっていることが多い。スタッフ全体での意思統一ができていない。話を傾聴できていない。→もしかすると間違った認識をしているかもしれない。
- ⑨取り組んでいません。本人の目標をちゃんと把握できていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)

カンファレンス・ミーティングの方法が場当たり的になってしまい、そちらの内容が中心でケアプランの振り返りは不十分になっている。

客観的に捉えることができず、感情論だったり、自分の価値観で評価してしまうから。

日々のケアの実践に対するアセスメント不足。

ケアプランが頭に入っていない。

⑧ から⑨ 意識していませんでした。(これから頑張ります)。

個々の情報をしっかり見れていない。

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<p>・ご利用者の「以前の暮らし方」が10個、一人一人の職員が見つげられるように、相手を知ろうとする姿勢で、日々の関わりの中で把握できるようにしていく。</p>
---------	--

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？		6	2	1

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	4	3	1
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	3	1	
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3	3	3	
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	4	1	
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	4	1	1

できている点	<p>①以前の暮らし方を忘れているときもあるが、同じ話の繰り返しになっても話をうかがうようにしている。</p> <p>① 会話の中でや、フェイスシート、面接記録などで、出来ている方もある。</p> <p>② 食事内容・食事形態・食器の工夫・その時の体調に合わせた入浴、身体的、精神的なところに合わせた排泄介助を行っている。</p> <p>③ こんなふうにしてもらえないか、と思う時は話している。</p> <p>④ ミーティングや記録、それ以外にも急を要するときは、その場で共有している。</p> <p>⑤ 変化に気づいたらすぐに対応できている。</p> <p>通所時の状態や職員の報告を聞き食事対応している。</p> <p>体調の変化に気づいた時は職員に伝えたりしている。</p> <p>自分で判断せず、他職員に相談して支援している。</p> <p>② から⑤「相手を知りたい」という気持ちはあり、ミーティングで聞いた内容を覚えたり、自分なりに利用者さんの発言や、様子を伝えるようにしている。</p> <p>① から⑤の項目について、ミーティング等で共有をしたり、利用時に変わった様子が見られれば伝える。</p> <p>現在の状態については、把握し、必要なケアは最低限できている。(つもり)</p> <p>入浴介助は1対1の対応になっているので、「話をする、聴く」という適した場所になっている。</p> <p>本人様に何か変わったことがあれば、職員へ伝え、対応が必要であれば方法の検討もできている。</p> <p>①会話の中や暮らしの中で聞かせてもらったり、見つけたりしています。</p> <p>① 10個とは言えませんが、少しでも多く、別の職員からの情報で増やせていると思います。</p> <p>② できる限り希望にそえるようにしています。</p> <p>③ できています。</p> <p>④ 共有して様子をみたりなど行っている。</p> <p>⑤ 受診する事もしたりしています。</p> <p>入浴時、送迎時、1対1で話をする中で、生活環境や以前の暮らしについて聞くことができています。</p>
--------	---

できていない点	
---------	--

① ご自分のことを話されなかった方については、10個以上把握できていない。

10個以上の把握まではできていない。

言語化まではできていない。

少しずつ一人ひとりの特徴を踏まえた介助が出来ていると思うが、自分自身余裕がなく、利用者との会話が成り立っていない時などがあるように思う。

過去の生活歴をよく知ることができていない。

今後、予測されるであろう事についても具体的に考えられていない。→情報収集不足。

暮らし方の把握が不十分。

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)

利用者さんとの関りが少ないから。

介護の技術・知識がまだ未熟だと思われる。

教官する気持ちも意識しないといけないと思います。

「過去・現在・未来」という時間の流れの中で生きているという視点に欠けている。

本人様とのコミュニケーションが不足している。

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 年 月 日

4. 地域での暮らしの支援

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・おきなぎの家を知って頂ける機会として、民生委員に挨拶に行き、地域でサービスが必要だと思われる高齢者がおられないかなど聞かせていただく。又、何かあれば相談していただけるように、認知症あんしんサポート相談窓口の呼び込みもでき、今後の繋がりを持てるようにする。 ・サロンへの呼びかけに、民生委員にも協力してもらい、事業所・民生委員・サロンと繋がりが持てるように進めていく。
---------	---

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	4	2	2

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	5	2	0
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	4	2	1
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2	4	1	2
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	3	3	1	2

できている点	<p>①民生委員に挨拶には行けていないが、運営推進会議で順番に参加していただいている委員の方に状況を伝えたり、教えてもらったりして気になる方については、把握している。また窓口の呼びかけもしている。個人的にはできていない方だが、事業所としたらサロンへの参加(見学)などをさせてもらっていた。</p> <p>① 他職員からも情報収集し、自分でも一人一人をみて把握している。</p> <p>② その方々で地域との関係が深かったり、浅かったりしていますが、その方のスタイルに合わせて支援できていると思う。家族は一番の方だと思うので、関係性もあるが切れないように支援していると思います。</p> <p>③ できていると思う。接していないところまでは分からない。しかし家の前に立っておられたり、ご近所の方が来られている姿が見られたりする場面などはお見掛けする。</p> <p>④ 必要時には、把握して対応している。限られた資源の中で。</p> <p>地域でのイベントにはできるだけ参加するようにしている。</p> <p>①上司が行ったりされている。また民生委員にサービスが必要な人がいることは伝えたことがある。個人的に相談に来られた方を窓口で足を運んでもらったこともある。</p> <p>①管理者が挨拶に行かれている。民生委員と直接話はしていないが、相談窓口に来られた方の知人に見学に来ていただけるように声掛けを行ったり、何かあれば相談していただくよう声掛けを行った。喫茶店へコーヒーを飲みに行かれるような感覚でサロンも薦めてみた。送迎時も気にかけている。</p> <p>① 面接記録やご本人との会話の中で、なんとかできていると思う。</p> <p>② 同居の家族にはその都度様子をつたえたり、別居の家族には何かあれば連絡してもらえらるようにしている。</p> <p>③ 通いや訪問で、なんとなくこうなんだろうなと思うところはあります。</p> <p>④ 必要に応じて、近所の方に声掛けをしたり、移送サービス・見守りサービス等資源は十分活用されている。</p> <p>他職員の話や本人からの話等で、把握できていると思う。</p>
--------	--

- ① フェイスシート・職員間で聞いて理解している。
- ② 送迎時、訪問時、など変わったことがあれば声をかけている。
- ③ ご利用者との会話の中で利用されていない日の様子を聞いている。
- ④ 必要であれば、おきなぎを利用されている民生委員は誰か把握している。

本人や家族様との話での聞き取りをしている。

必要なときには地域の方にも協力をお願いしている。

家族様にも関りを持ってもらうよう声掛けをしている。

民生委員にサービスが必要だと思われる方に、事業所の行事に来ていただくように声掛けをしていただいた。

本人様や家族様等の会話の中で把握できている。

できていない点

本人の自宅での生活については、本人の話からなんとなくは理解しているが、実際に具体的に1日をどのように過ごされ食事、睡眠など、生活全般に渡って詳細に把握できていない。

地域の資源を分かっていない。

①から④ 記録・連絡ノート・ミーティング等で少しずつ利用者さんのことが分かってきましたが、まだわからないことが多いです。

民生委員への協力、相談窓口への呼び込みはできていない。

自宅での本人様の様子については把握できていないことが多く、情報収集ができていない。あとになって家族様などから話を聞くことがあった。

相談窓口への相談へと繋げていけない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)

情報収集不足

具体的な資料がない

職場が地元なので、私共混同になると良い面もあるが、こわい面(物がある・ない)も出てくるので、深入りはできない。

民生委員、地域の資源を把握できるようにする。

仕事に慣れるのに精いっぱい、ケアプラン等見ていないため。

管理者が民生委員に挨拶に行つてつながりを持つようにしている。

民生委員への協力の声掛けができていない。

本人の自宅での生活についての聞き取りや、普段からのコミュニケーションが足りていない。

地域への働きかけが少ない。

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 年 月 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人が、ご利用者のいつものこの部分は変わらない反面、少しいつもと様子が違うなど、コミュニケーションをとる中で、見極められるよう積極的にご利用者との関わりを多く持ち、気づいていけるようにする。 ・本庄地区のご利用者の方には、地域で行われる行事に参加・見学して頂けるようにする。又、おきなぎの家から、ご利用者と職員が行事に参加・見学する事で、事業所名と職員の顔を知ってもらえるきっかけになる。その日の状況もあるが、可能な限り参加する事で他者（地域）から声をかけてもらえる関係を作り、徐々に地域と繋がりが持てるように努力する。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	2	5	1	1

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3	3	1	2
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	2	2	1
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	4	1	0
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	4	1	0

できている点
<p>①他職員からの情報や自分が持っている情報を共有し、気づいていけるようにしている。伊根地区に限らず、本庄であるイベントにも本庄地区の方に参加してもらえた。また相手側からも声をかけてもらっていた。</p> <p>① 必要に応じて相談し、支援できていたと思う。</p> <p>② できていると思う。</p> <p>③ できていると思う。</p> <p>④ できていると思う。利用につながらないときもあるが、支援は柔軟にされているし、声かけも行っている。</p> <p>ミーティングでの情報交換は、ほぼできている。</p> <p>状態の変化に応じて対応もできている。</p> <p>①本庄地区に限らず、出かけている。</p> <p>①気づけていと思う。他の地域へも行事で出かけている。とくに中学校行事には参加していて、中学校から案内をもらったり、席を設けていただいたりすることもある。ブログでも本庄地区の方から「見ている」と言っていただけだ。</p> <p>気づいた時に近くにいる職員にも伝え、ミーティングでも共有している。</p> <p>その日の状態に合わせて支援できている。</p> <p>行事があると職員に伝え、参加できるときはご利用者さんと一緒に参加ではしていると思う。</p> <p>① 近所の方、親戚の方にも声をかけている。</p> <p>② 私の方からは、言わないがケアマネさんが必要だと思ったら、それに</p> <p>③ 毎日のミーティングで共有できている。</p> <p>④ 本人様が体調の悪い、気分がのらない等の様子が見られたら、本人様が良いように過ごしていただくよ</p>

うにする。

出来る限り他の事業所や自由民の方に協力してもらっている。

なるべく変化に気づけるようコミュニケーションがとれている。

本人の状態により、サービス内容を変更したりしている。

利用者の体調、家族の体調などによって、サービスの変更ができています。

できていない点

小規模多機能施設のしくみや特徴についての理解ができず、『適切なサービス』についてわかっていない。

地域の方々との交流

地域資源について知ること

本当に本人に合っている支援なのか、見極めが不十分だと思ふことがある。

本庄地区のご利用者に地域の行事に参加してもらえていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

困っていること→「すぐサービスへ」という視点ではなく、その原因を探ること。それには本人や家族の「困りごと」の内容をよく知り、必要な場合は教育・指導的な支援もあると思う。

地域の資源のことや、介護の知識の勉強不足のため。

ニーズの把握が不十分、本当に必要な援助なのかという検討が不十分。

地区の行事等の情報収集ができていない。

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 年 月 日

6. 連携・協働

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	
・他事業所（小規模多機能）の取り組みを見学に行った職員より話を聞かせて頂き、今後事業所として地域と何か一緒にできる事はないのか職員間で話し合い、おきなぎの家ならではの活動が月1回は行えるように考え、実行する。	

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	4	1	3	1

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	5	0	2	2
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	2	1	3
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	4	2	2	1
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	5	2	1	1

できている点
①余暇時間に手作業や、月1回の担当を決め計画できている。 ① できていると思う。 ② 個人的には行けていないが、他職員が参加できるよう勤務の調整などできている。 ③ 自治会や町内会のイベントに参加・見学はできていると思います。 ④ おきなぎの家で実施するイベントに地域の方に声をかけて来てもらったことがあります。施設内のイベントに保育所の子供たちなどに声をかけて来ていただいている。 毎月の計画を立てて行事を行っている。 年間スケジュールを組み立てて行っている。 ケアマネさんが参加され、必要なことは報告していただいている。折に触れ行っている。 ①年間行事計画を立てることができた。それ以外にも地域行事に参加できている。 ① 担当者会議に参加している。 ② ケアマネが会議に参加され、必要なことは聞いている。 ③ 行事があればその都度参加している。 ④ 園児や学童の子供たちと触れ合う機会が多かった。 保育園・児童クラブの子供が来てくれている。 イベント等がある時は、参加できていると思う。 ① サービス担当者会議に参加している。 ② ケアマネが参加し話を聞いている。 ③ 運動会や学校の行事等に参加している。 ④ 敬老祝賀会には、保育所の園児に来てもらい、見せ物をしてもらった。夏休みには学童の小学生が来て、ご利用者と触れ合いをもった。 ケアマネ会議へ参加している。 認知症相談窓口や行事などの機会をとおして訪れてもらっている。

月1回、活動できている。地域の方へ催し物があるときにチラシなどを通して知らせて来てもらった。担当者会議に出席している。

できていない点

医療機関との連携は、まだスムーズではない。
地域への情報の発信。
行事の取り組み、その成果などが「報告書」としての文書のみで、次に生かせていない。
会議に参加できていない。
取り組みの話を聞かせてもらうが、活動まではできていない。
会議やイベントに参加していません。
地域の方と一緒にできる活動自体があまりできていない。
その他のサービス機関との会議はあまりできていない。
地域の運動会などへの見学には行っているが参加はできていない。
他事業所へ取り組みの見学に行けていない。
地域包括支援センター・自治体への会議に参加していません。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

言い訳だが、日常業務に追われている。余裕がない。
窓口を開放できているようでできていない。もっと自由に地域の人たちか顔を出してもらえるような取り組みが可能なのかどうかもわかっていないから（その方法も）。
サービス機関との関りかないからできていない。
どう活動したらいいかわからない。
それよりも前に学ぶべきことがあると思います。
活動について、他事業所の話を聞くことはあるが、事業所内では話し合いがなかなかできていないので、活動へつなげていない。
他機関との会議の機会はありません。

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 年 月 日

7. 運営

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	
	・ 区長や民生委員の方と一緒に地域を回り、気になる高齢者の把握を事業所職員が目で見えて把握する。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？			1	7

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？		5	1	2
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	1	2	2
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		2	3	3
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	2	1	2	3

できている点	
	<p>① 思うことがあれば会議やミーティングなどで伝えている。</p> <p>② 意見や苦情があれば、すぐに伝えるようにしている。</p> <p>③ 同上</p> <p>④ 例えば、ゴミ出し場所の片づけ等、積極的に行っている。</p> <p>会議などで業務の仕方など意見は言えていると思う。</p> <p>② 意見などがあれば報告して家族様・ご利用者が気持ちよく利用できるようにしている。</p> <p>③ なし</p> <p>④ ゴミ出しの場所の掃除を順番が回ってきたらしている。</p> <p>職員会議やミーティングで意見を言っている。</p> <p>① 伝えることはなかったけれど、相談窓口に来られる方には対応はさせていただけると思う。</p> <p>② その都度ミーティングなどで伝えあっている。</p> <p>③ 伺うことはなかったと思ったが、あれば報告してもらい、少しでも対応はしている。</p> <p>④ 伊根地区文化祭におきなぎの家を紹介させてもらうことができた。</p>

できていない点	
	<p>① 区長や民生委員の方と一緒に地域を回っていない。</p> <p>地域・利用者・家族からの声が聞けていない。</p> <p>地域周りではできていない。</p> <p>ご意見などをうかがう機会が少ない。</p> <p>地域の意見を聞くことはあるが、運営・活動には生かされてない。</p> <p>地域と協力した取り組みはできていない。</p> <p>① 何もいうことがないから言っていないと思います。</p> <p>② なし</p> <p>③ 地域の方から意見・苦情などを聞いていない。</p> <p>地域を区長や民生委員と一緒に回っていない。</p> <p>① 運営推進会議では、話ができていても、実際に働きかけることはなかったです。</p>

個人としては、できていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)

勉強不足

①そのような機会をつくっていない。

おきなぎの地域での役割についての理解不足。またそういうことを学習する場がない。

地域包括の関りが多く区長・民生との関りが少ない。

なかなか意見を言ってもらえることが少ない。聞き取りや話しやすい環境が整っていない。

いただいた意見を生かせるタイミングがなかなかない。

自発的な活動が少ない。

(3) 地域の方とおきなぎの家についての話をしたことがない。

包括が先に家族や地域の方から相談を受けることが多いからではないか。まだまだおきなぎの家がそういう事もできる事の認知がなされていないのではと思う。

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 年 月 日

8. 質を向上するための取組み

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<p>・質を向上するための取組みとしては、施設外の研修（他施設との交換研修など）に自発的に参加する事と、他施設からの研修を受け入れ、おきなぎの家の取組みを見てもらえる機会をつくる。</p>
---------	--

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？		3	1	3

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		3	4	1
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2		6
③ 地域連絡会に参加していますか	1	1		6
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	3	3	1

できている点	<p>①今年初めて中学生の体験学習を受け入れた。施設内研修や介護士交流会に参加した。</p> <p>① 委員会で研修の担当になり実施した。</p> <p>② 資格取得まではいかないが研修に参加したり事業所内で入浴についてあらためて資料を読んだ。</p> <p>③ 担当者が参加されている。</p> <p>④ 常に事故のないよう考えて行動している。</p> <p>職場内の研修にはできるだけ参加するようにしている。</p> <p>自分なりに本を与読むなどして、学習をしている。</p> <p>事故報告やヒヤリハット、各委員会活動はできている。</p> <p>研修には参加している。</p> <p>ケアマネ研修へ参加。</p> <p>業務改善のなかで取り組んでいる。</p> <p>(4)事故・ヒヤリハット等があれば、報告書を出しています。</p> <p>①職員の移動により、おきなぎという職場を知ってもらえている。</p>
--------	--

できていない点	<p>認知症や制度の勉強はしたいです。しかし今は介護のスキルアップについては「習うより慣れろ」な気分です。</p> <p>外に目を向けられていない。</p> <p>① 小規模多機能の交流会には参加しているが、職場の研修には用事も重なり行けていません。</p> <p>② 今から資格取得しようとは思いません。</p> <p>③ 担当の方が参加しているのでできません。そのような機会がない。</p> <p>施設外の研修に参加していない。</p> <p>①他からの依頼がない。</p> <p>① ②日にちや時間が合わない。</p> <p>研修や資格取得ができていない。</p>
---------	---

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	
目の前の課題で精いっぱい	

日々の業務を行うだけで、研修に参加するところまでいかない。
行きたいと思える研修がない。

スー⑧

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 年 月 日

9. 人権・プライバシー

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
・必要な方にはサービス利用が受けてもらえるように、成年後見制度に限らず他制度についても、説明できるよう研修会に参加するなどして身につけていく。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？		2	1	4

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 身体拘束をしていない	6	2		
② 虐待は行われていない	7	1		
③ プライバシーが守られている	6	2		
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	2	2	1	3
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	5	2	1	

できている点

① 「安全のため」身体拘束ともとれることをしていると思います。
② 「一寸丹心」で接するようにしています。
③ 心がけています。
① していない
② 行っていない
③ 守っている
④ 必要な方は活用されている
⑤ 伝えなければいけないことは伝え、不必要なことは伝えていない。
プライバシーの保護や、守秘義務などについてはできている。
一人の人間としての尊重はできている。
研修への参加で知識を取り入れるようにした。
① と②はしていない。③はできている。⑤はできている。
① ②③⑤ともにできている。(2名)
ならないように日ごろから気を付けている。

できていない点

④ を必要としているご利用者がおられません。
⑤ 心がけています。しかし地域密着度が強く、ボーダーラインがわからない時があります。
⑥研修会に参加していない。
社会資源の活用については、よく理解していない。
常に自分の言動を振り返り、再確認をすること。
活用する方がいない。
成年後見人制度が必要とかと思われる方はいるが、話ができていない。
ファイルを出したままにしていたり、収納棚のドアを開け放しているところがある。

研修の参加、成年後見制度の活用はできていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

経験不足・知識不足

そのような取り組みをわすれていたため、研修会が行われているかどうかも見落としていた。
常にプロ意識をもっていること。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (13 : 05～13 : 25)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 嶋崎・中島・塚原・森下・奥野
上山・山田・中村・太田・佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	1人	3人	9人

前回の改善計画
・ご利用者以外で、いつもと様子が違うなど情報を聞いた時には様子を見て、ご利用者宅を訪問・送迎後など近くを通る時には様子伺いに行く。まずは、挨拶から始まり顔なじみの関係を作るようにする。 ・次年度は、曜日を決めて地域に出向き、ご自宅を訪問できるようにする。(新規ご利用者に繋がるように)
前回の改善計画に対する取組み結果
・認知症あんしんサポート相談窓口に来られ、話を聞き包括にサービス導入の話や何か関りができる方法を提案した。半面、相談者と本人の思いが異なることもあり、ご利用者宅に訪問しての相談ができにくいという課題も浮き彫りになった。 ・情報を聞いた後、ご本人を見かける事があれば、さりげなく様子を見せていただいたり、ご本人がサービス利用を拒んでおられるようなときは、ご本人にサービス利用を勧めている周りの方に声かけを行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	3	1		9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	3	1	1	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	3		2	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	3	2	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	情報の共有は、パソコン・申し送りノートを活用して情報共有を行った。また毎日のミーティングだけでなく、情報提供票等にも目を通して情報をとるように心掛けた。ミーティングは、その日に自分がすることを伝え、お互いに確認しあったり、共有しておくべき情報を細かく伝えて、補いあった。
②	ご利用時(送迎時・訪問時)にご本人の様子をうかがったり、ご家族がいらっしゃるときには話を聞かせていただき、ニーズを把握した。またサービス提供者側として『できること』『できないこと』を明確にして、必要とされる支援をできるだけ実現するようにした。
③	ご利用者が慣れていない時期には、特に時間をつかい、ゆっくり話を聞くようにした。また理解していただきやすい言葉で話しかけるようにした。更に一人にならないよう声掛けを行ったり、事業所内の説明をして安心していただけるようにした。
④	細かな希望や要望を参考にさせていただいて、ケアプランに立案し支援できた。また不安(サービス利用を拒んでおられる等)を訴えられたご利用者がおられたという情報があれば、ご本人にお会いするときは、さりげなく自然に様子を見せていただいたり、ご本人にサービス利用をすすめるまでに、まずは安心していただけるための話し合いをご利用者・ご家族としていった。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
---------	--------------------------------

- ・ご家族との関りがご利用者ほどには多くないため、一番ご利用者を知っておられるご家族が、何に困っていて、どうしたいのか…という具体的なところが見えにくい。
- ・認知症安心サポート相談窓口に来られて話をお聞きすることはあったが、地域包括支援センターとサービス導入の話などを検討・模索したものの、相談者とご本人の思いが異なったために、ご利用者宅へ訪問することができないことがあった。
- ・職員体制もあり、新規受け入れが消極的になっていた。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

ご利用者以外からも、いつもと様子が違うなどの情報を聞いたときには、ご利用者宅を訪問・送迎時に近くを通る時には様子を伺いに行く。また訪問した際には、ご家族とのコミュニケーションもとり、お気持ちを聞けるようにする。

事-①

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 26 日 (19 : 00～19 : 10)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 嶋崎・中島・塚原・森下・奥野
上山・山田・中村・太田・佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	4人	1人	9人

前回の改善計画	
・ケアプランを作成する際、モニタリングで出た意見をプランに反映させる為には、職員一人一人が関わりを持つ事で、ご利用者の目標となる部分を会話の中からキャッチでき、職員同士意見交換できる場を作り(ミーティング等) 目標に向かって支援できるようにする。又、作成されたケアプランについても、各自で目を通すようにする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
一か月に一回のカンファレンスにて、ご利用者様一人一人の『できたこと』『できていないこと』などの課題を明確にし、チームではなし、統一に向けた介護ができた。統一ができない状況のときには、再カンファレンスなどを実施し、話し合いの場を設けた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	5	1	2	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	1	2	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	2	1	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	2	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① ～④	ケアプランを基に把握できている。また日々のかかわりの中で、新たな目標などを聞いた時は、ミーティングや随時複数の職員間で話を共有している。 休みの職員にもわかるように、申し送りノートに記載し、あわせてパソコンにも入力して共有できた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① ～④	職員のスキルが違い、全体としてはできていると思うが、一人ずつを見ると、個々の情報を把握できていない時もある(スタッフ全体での意思統一ができていない)。その場合は、ミーティング等で情報を発信しながら、申し送りノートやパソコンでの情報収集を促している。 ケアプランの実践についてミーティングで伝えているが、報告のみで終わっていることもあり、振り返りや、次の対応に活かしていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

ケアプランがご利用者にとってケアの基本であることを会議の時間を使用して啓発し、職員全員が認識できるようにする。その中で、職員全員が個々の動きをするものの、すべてがケアプランの目標に向かって支援しているということを理解することで、ご利用者にとって統一したブレない満足していただけるケアに繋がるようにする。

事一②

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 3 日 (14 : 15～14 : 35)

3. 日常生活の支援

メンバー 嶋崎・中島・塚原・森下・奥野
上山・山田・中村・太田・佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	2人	1人	9人

前回の改善計画

・ご利用者の「以前の暮らし方」が 10 個、一人一人の職員が見つけれられるように、相手を知ろうとする姿勢で、日々の関わりの中で把握できるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

常に、コミュニケーションをとり、関りを持つようにして職員一人一人が情報収集に努め、記録に残したり、ミーティングで話し合い共有できていた。職員の経験年数やご利用者の利用期間の長短で職員一人一人が 10 個見つけている方、そうでない方もおられるが、事業所全体としては 10 個以上は継続してできていた。また意識的に取り組むことで以前よりも情報量は増えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1	4	3	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	4	1		9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	3	3		9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	4	1		9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	4	1	1	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

① 利用者とのかかわりの中で情報収集したり、ミーティングなどを通して別の職員から情報を収集している。ただ、あまり話をされないご利用者の情報収集には職員の個人差もあり、うまく引き出せないこともあるが、ご家族に聞いたり、他のご利用者との会話の中から情報収集していた。

② 送迎時・訪問時には体調の確認をし、体調に合わせた支援方法で援助させていただいた。来所されている間も体調や様子を見て相談したうえで介助している。

③ 本人の表情や様子、ふとした言動に注意を払い、本人の希望していることなどをミーティングで話し合い共有している。

④ ⑤
本人の体調や様子、言動には注意を払い、何か気になることがあればミーティングなどで共有している。本人の身体面・生活面に変化が見られれば、その都度ミーティングやその場の職員で対応方法を検討し支援している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

職員一人一人の個人差があり、『できる職員』『できにくい職員』があり、お互いにフォローしあって支援にあたっている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

ご利用者の「以前の暮らし方」が10個、一人一人の職員が見つけられ、それが「現在の少しでも満足していただいた生活のどの部分に繋がったか」を発言しあえるように、職員全員が日々の関わり方を密にしてい

く。

事一③

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 8 日 (15 : 00～15 : 20)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 塚原・森下・奥野
上山・山田・中村・太田・佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	2人	9人

前回の改善計画

- ・おきなぎの家を知って頂ける機会として、民生委員に挨拶に行き、地域でサービスが必要だと思われる高齢者がおられないかなど聞かせていただく。又、何かあれば相談していただけるように、認知症あんしんサポート相談窓口の呼び込みもでき、今後の繋がりを持てるようにする。
- ・サロンへの呼びかけに、民生委員にも協力してもらい、事業所・民生委員・サロンと繋がりが持てるように進めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

民生委員の方については運営推進会議に順番に参加してもらい利用者状況を伝えたり、地域のことを教えてもらったりしている。気になる方については民生委員の方に協力していただいたり、様子を見てもらったりもしていただいている。

相談サポート窓口については、初回面接時、または訪問した際などご家族から相談されたりしたときには、窓口の紹介をさせていただいたりしている。まだ、認知度は低く、さらに啓発が必要ではあるが、かわら版などを作成して、啓発への取り組みを始めていく予定。

サロンへは事業所として参加(見学)させてもらい、ご利用者の様子を見に行かせてもらっていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	5	2	0	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	4	2	1	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	4	1	2	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	3	1	2	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ① 面接記録やフェイスシートなどの記録から各自で情報収集して把握している。本人様やご家族との話の中で得た情報をミーティングやカンファレンスで情報共有して把握している。
- ② 同居されている方については送迎時や訪問時に情報を伝達したり、別居されている方については何かあるときには連絡を取り合い、ご利用者との関係が切れることがないようにしている。ふれあいサロンなど地域行事があれば、そちらに優先的に参加していただけるようサービス調整して地域との関りを保てるように支援している。
- ③ 事業所が直接接していない時間の過ごし方については、すべてを把握している訳ではないが、利用日ではない日の送迎時など自宅前を通る際に見かけたときには声掛けをしている。利用者や家族との会話の中で自宅での様子などを伺うようにしている。本人の自立度にもよるが、介護度が高くなったり、介護の必要性が増してくると、家族様とも連絡を取り合い、生活状況の把握に努めている。
- ④ 利用されている方の地域の民生委員は誰か把握しており、必要時に近所の方に声掛けして様子を見に行ってもらったり、民生委員さんに声掛けをお願いしたりしている。見守りサービス・移送サービスも随時で使ってもらっており、資源を活用できている。

--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
全体的には、民生委員さんと共にした地域との交流(サロンも含む)が多くはなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>あらためておきなぎの家を知って頂ける機会とするために、民生委員さんに相談し、地域でサービスが必要だと思われる高齢者がおられないかなど聞かせていただく機会を設ける。</p> <p>その際、何かあれば相談していただけるように、認知症あんしんサポート相談窓口へ繋ぎ、今後関りを持てるようにする。</p> <p>また、サロンへの呼びかけに、民生委員さんにも協力していただき、民生委員・サロン・事業所と密に連携が保てるようにし、地域への働きかけを増やす。</p>	

事一④

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 8 日 (15 : 00～15 : 20)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 塚原・森下・奥野
上山・山田・中村・太田・佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	1人	1人	9人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人が、ご利用者のいつものこの部分は変わらない反面、少しいつもと様子が違うなど、コミュニケーションをとる中で、見極められるよう積極的にご利用者との関わりを多く持ち、気づいていけるようにする。 ・本庄地区のご利用者の方には、地域で行われる行事に参加・見学して頂けるようにする。又、おきなぎの家から、ご利用者と職員が行事に参加・見学する事で、事業所名と職員の顔を知ってもらえるきっかけになる。その日の状況もあるが、可能な限り参加する事で他者（地域）から声をかけてもらえる関係を作り、徐々に地域と繋がりが持てるように努力する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の変化に気づいていけるよう、日頃からコミュニケーションをとるようにしている。その中で気づいたことがあれば、ミーティングなどで共有している。 ・本庄地区の方については本庄の行事へはあまり参加はできなかったが、全体的に伊根・朝妻・本庄地区への行事参加はしてもらえている。特に学校行事には参加させてもらっており、案内をいただいたり、席を設けてもらったりもしている。ブログについても地域の方に「見ている」と言ってもらえたこともあった。今後も参加できるような行事などが無い情報収集に取り組んでいきたいと思っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	3	1	2	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	2	2	1	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	4	1	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	4	1	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	地域の方や親せきの方にも声掛けしてもらったり、移送サービスや配食サービスなど必要な資源と協力して対応できている。また、地域包括とも支援方法について助言をいただいたりしている。
②	事業所内でもニーズ・サービス内容の検討をしているが、必要なサービスができているのかという見極めについては不十分な点もあり、現在事業所内でのカンファレンス方法の改善の検討、実施を行っており、より適切なサービス提供・提案に努めている。また、サービス内容についてはご利用者・ご家族の希望に合わせたサービス内容を提供しており、定期的なモニタリングでのサービス内容の確認や随時でのサービス調整も行っている。
③	関りや記録をする中で気づいた変化や様子をその場の職員間で申し送ったり、ミーティングなどを通して共有を意識的に行っている。その後の経過についても記録に残したり、翌日の勤務者に申し送ることなどで、継続したモニタリングを行っている。
④	ご利用者の体調や気分に合わせてサービス内容の変更・調整を行い、通い利用であればご利用者に合わせた過ごし方(横になりたい、カラオケをしたいなど)をしてもらっている。また、同居されている場合であればご家族に急用などがあった場合には迅速なサービス調整を行い対応できている。別居、一人暮

らしの場合にはご家族と連絡を取り合ったり、ご利用者と相談しながらサービス内容、支援内容を調整できている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

全体としてはできているが、職員に偏りがあり(小規模多機能施設のしくみや特徴についての理解不足も含む)で「適切なサービス」に繋がりにくくなるのではないかという不安要素もある。
また、本当に本人に合っている支援なのか見極めがさらに必要と考えている。
継続して本庄地区に対するアプローチが弱い。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・職員のスキルアップを行う。「困っている→サービス提供」という過程の中で、その原因を探れることをはじめ、社会資源はどんなものがあるか、また介護知識の向上、ご利用者の些細な変化を見極められる観察力など身につける。
- ・本庄地区で行われる行事に参加・見学させていただけるように事前に計画する。可能な限り参加する事で他者(地域)から声をかけてもらえる関係を作り、ますます地域と深い繋がりが持てるように努力する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 8 日 (15 : 00～15 : 20)

6. 連携・協働

メンバー 塚原・森下・奥野
上山・山田・中村・太田・佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	1人	3人	1人	9人

前回の改善計画
・他事業所 (小規模多機能) の取り組みを見学に行った職員より話を聞かせて頂き、今後事業所として地域と何か一緒にできる事はないのか職員間で話し合い、おきなぎの家ならではの活動が月 1 回は行えるように考え、実行する。
前回の改善計画に対する取組み結果
他事業所の話聞く事はあるが、事業所での話し合いや地域での活動には活かさきれていない。ただ今年度から年間行事計画をたてて、毎月おきなぎの家としての行事や活動を行っているとともに、地域行事へも出来る限り参加させていただいている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等) の他事業所との会議を行っていますか?	5	0	2	2	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	2	1	3	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	4	2	2	1	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	5	2	1	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	利用者の担当者会議において、利用者に関わる事業所職員の参加はあまりできておらず、今後の課題ではあるが、包括で行われるケアマネ会議や事例検討会には参加しており、隔月で実施されている与謝郡内の小規模多機能型施設の介護士交流会にも職員が交代で参加し、他事業所と意見交換もしている。
②	地域包括支援センターでのケアマネ会議や事例検討会には参加している。 今後、管理者・ケアマネ以外の職員にも事例検討会には参加してもらうことも考えていかなければならないと思われる。 運営推進会議では区長や役場職員、民生委員にも欠かさず参加してもらい、様々な視点からの意見を頂いている。
③	中学校での体育祭や発表会、小学校との交流、地区運動会には参加・見学させていただいている。地区の文化祭にはブースを出展し、おきなぎの家を知ってもらうようチラシなどを配ったり、展示もしている。寿茶屋の勉強会にも毎回参加している。
④	認知症あんしんサポート相談窓口には 4 件ほどの相談があったが、まだ認知度はあまり高くないようであり、今後かわら版などで啓発して悩まれている高齢者や介護者の

方により来ていただける必要があると思われる。その一方で保育所や学童の子ども達には来て頂け、催しなどを通して利用者と交流していただいたり、近所の方に声掛けして来ていただき、一緒に催しを楽しんで頂けた。夏には中学校の職場体験後に、実習生が訪れて、利用者の方に声を掛けてくれていた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・その他のサービス機関(医療機関・訪問看護・福祉用具等の他事業所)との会議について、特に医療機関との会議は必要なケースが少なかったこともあり、あまりできていない。
- ・意識して地域行事に参加した一年ではあったが、目に見えた成果は少なく、今後もさらに継続する必要がある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

関係機関や地域で行われる行事や会議にできるだけ参加できるように心掛け、協力させていただけることには積極的に参加する。

事-⑥

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年1月8日(15:00~15:20)

7. 運営

メンバー 塚原・森下・奥野
上山・山田・中村・太田・佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	1人	7人	8人

前回の改善計画
・区長や民生委員の方と一緒に地域を回り、気になる高齢者の把握を事業所職員が目で見えて把握する。

前回の改善計画に対する取組み結果
区長や民生委員の方と一緒に地域周りにはできていないが、新規の利用者の方で気になる方がいれば民生委員の方にも伝え、様子を見てもらっている。今後、運営推進会議でも気になる方がおられるか聞き取りをしている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	5	1	2	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	1	2	2	8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	2	3	2	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	1	2	2	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 会議やミーティングに限らず、普段の業務中でも業務のことや、行事・取り組みについて話し合いを行い、検討できている。
② ご利用者、ご家族からのご意見、ご要望があれば、その都度職員へ伝えて、話し合いを行い対応を検討して、業務内容の見直しも行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
③ 地域の方からの意見を聞く機会が少なく、運営に反映はできていないが、運営推進会議で意見をいただいたりしている。今後、地区の班の会議での聞き取りやかかわら版の配布などで意見の収集に努めていきたい。
④ 地域と協働した取り組みは行えていないが、おきなぎでおひさまバンドに来て頂き、演奏をして頂いた時には地域の方へも声掛けして一緒に楽しんでいただく事ができている。今後の課題として多目的室の活用などを通して地域の方と協力できるような取り組みが行っていければと思っている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・区長や民生委員の方と一緒に地域を回り、気になる高齢者の把握を事業所職員が目で見えて把握する(継続)。

事-⑦

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 8 日 (15 : 00～15 : 20)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 塚原・森下・奥野
上山・山田・中村・太田・佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	3 人	2 人	3 人	8 人

前回の改善計画
・質を向上するための取組みとしては、施設外の研修（他施設との交換研修など）に自発的に参加する事と、他施設からの研修を受け入れ、おきなぎの家の取組みを見てもらえる機会をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果
介護士交流会を通して他施設の見学や意見交換をしており、おきなぎでも交流会を開催して他施設の職員にもおきなぎを見てもらっている。また中学生の体験実習や他施設からの実習の受け入れもしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	0	3	4	1	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	0	6	8
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	0	6	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	3	3	1	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	施設内・法人内研修には参加できている。施設外についても参加している。また委員会活動などを通して研修の実施も行えている。
②	資格取得の研修には参加している。スキルアップの研修へは参加していないが、新人職員などスキルアップできるよう担当を付けて毎月面接したりなど職員全員で取り組んでいる。
③	ケアマネ会議へ参加したり、運営推進会議を実施しているが、内容などについては各職員への周知ができていなかったもので、今後周知をしていく。
④	事故報告書やヒヤリハット報告書を各職員が閲覧できる状態にして、リスクマネジメントに役立てている。また、日頃から見守りを徹底し注意しなければいけないことがあれば、会議やミーティングで話し合い、対応・対策を検討している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	施設内・法人内研修については、参加する職員と参加しない職員が二極分化している。また、外部研修については、消極的(日にちや時間が合わない、また興味のある研修が少ないなど)な意見も聞かれ、今後の課題である。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・各種研修（他施設との交換研修を含む）に積極的に参加する事と、他施設からの研修も今年以上に受け入れ、おきなぎの家の取組みを見てもらえる機会をつくる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 8 日 (15 : 00～15 : 20)

9. 人権・プライバシー

メンバー 塚原・森下・奥野
上山・山田・中村・太田・佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	1人	4人	7人

前回の改善計画	・必要な方にはサービス利用が受けしてもらえるように、成年後見制度に限らず他制度についても、説明できるよう研修会に参加するなどして身につけていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修会などには参加できていない。制度があること自体は把握しているが、説明までできる職員は限られている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	2	0	0	8
②	虐待は行われていない	7	1	0	0	8
③	プライバシーが守られている	6	2	0	0	8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	2	1	3	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	2	1	0	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①身体的拘束以外でも言葉での拘束がないよう声掛けなど配慮して拘束にならないようにしている。施設内研修にも参加して常に拘束にならないよう対応している。	
② 行っていないし、そのように指導を徹底している。家族へも面接時などに虐待を目撃した際には通報義務があることも説明して、注意喚起している。	
③ プライバシーについては配慮して対応している。個人情報については必要最低限の使用にとどめ、ご本人・ご家族からも同意をもらっている。	
④ 現状として成年後見制度の活用が必要な方はおられない。今後必要になる方については様子を見ている状態。	
⑤ 取り扱い、保管場所などは徹底してできている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待、また個人情報の取り扱い等に関わる事柄については、法人が主催している法令順守委員会が定期的に研修を行っており、各職員ともに人権やプライバシーの確保はできている。しかし成年後見制度等の制度内容となると説明できる職員は少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
必要な方にはサービス利用が受けしてもらえるように、成年後見制度に限らず他制度についても、全職員が説	

明できるよう外部研修に参加する。また外部研修に行った職員から内部勉強会をとおして知識の習得を図るようにする。

事-⑨

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週 32 時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）			
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい			
3	前回の改善計画に対して、具体的な取り組みが行われていましたか？			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？			

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ・寿茶屋や、認知症あんしんサポート相談窓口で来訪される方がおられるので、そこからの繋がりも大事にし、地域との関係が持てるようにする。			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？			
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？			
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？			
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？			

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ <hr/> 【前回の改善計画】 ・新たな取り組みや、行事・イベント・防災訓練などする時は、地域住民と一緒にできるよう計画していく。			
1	職員はあいさつできていますか？			
2	事業所は、地域の方に知られていますか？			
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？			
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？			

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ <hr/> 【前回の改善計画】 ・ご利用者が住んでおられる地域の民生委員と、職員との関係づくりができ、社会資源の一つとして、困った事などあれば相談でき、一緒に自宅訪問ができるよう、協力体制をつくる事と、事業所が地域住民との関係が深まるようにする。			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？			
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？			
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？			
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？			

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】 ・運営推進会議メンバーに協力してもらい、地域を巻き込んで何か一つでも事業所として貢献できるようにしていく。又、行事や、災害訓練など参加してもらえらるような機会をつくる。			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？			
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？			
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？			
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？			

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】 ・事業所に来て頂けるきっかけの一つとして、おきなぎの家が避難場所と設定し、避難して頂けるよう合同訓練を計画していく。			
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？			
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？			
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？			
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？			

以上で終了です。ありがとうございました。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	5	0	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	5	0	0
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4	0	1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

【経過】

日々のミーティング時間を使いながら積極的に意見交換ができた。また9項目それぞれについて自らの姿勢や考え方を発表しあえたことで自身の整理に繋がったこと、また他職員の考え方や、どうしてそういう行動を取っていたのかも理解しあえたことで、今以上に結束力の強い、チーム関係が構築できたと考えている。

【意見】

2と3については確認方法がないので判断がしづらい。また「した」とは書いてあるが、具体的な証拠がないので判断が難しい。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

評価に対する振り返りをしっかり行えることで、達成できた部分と、出来ていない部分を全職員が明確に把握することができる。出来ていない部分をひとつでも達成できるように工夫と努力が求められる。全体的には出来ている方だと感じられた。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

職員個々の意見を集約して、全職員が理解をした計画にしたことで、より分かりやすく積極的に取り組めた。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

この外部評価制度になって2度目になる。更に一連の流れが職員間で理解できたことで、スムーズに課題の抽出ができるようになったと感じた。

【改善計画】

課題をしっかりと認識した上で、もう一步達成できなかった項目を全職員で協力しながら計画的に達成する。そのために3か月に1回検討会議を持ち、達成度を確認しながら、フォローする体制を定着させる。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	0
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5	0	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

【経過】

寿茶屋と認知症あんしんサポート相談窓口で、来訪される方をはじめ、訪問させて頂いた際にお会いするご家族や近隣の方々との関わりを大切に考え、積極的に関わるように心掛けた。それがきっかけで、直接ご利用登録とはなっていないが、ケースによっては包括支援センターに申し送ることができている。また継続の課題の「おきなぎの家を広く地域に知っていただく」ために、日々のこういった全職員の行動は、徐々に良い結果がでることになると考えている。

- ・常に、家らしい雰囲気をおきなぎながら整理整頓を心掛けた。また、清掃も毎日行えた。
- ・玄関のチャイムが鳴ると迅速に対応し、気持ちの良い接遇を心掛けた。
- ・外気が通るように、四季を風で感じることができるよう、極力、窓や玄関扉の開放を心掛けた。
- ・利用者同士の相性を考慮しながら、部屋の設えや居場所を工夫した。
- ・玄関扉の建て付けを修繕、玄関にスノコを設置、浴槽の栓およびトイレの排水不良の修繕をした。

【意見】

- ・1の「入りやすい工夫がなされていますか」とは、入ろうとしても圧迫感があるのか、戸が開けにくいものなのか。
- ・地域の方が少しでも入りやすい印象を持っていただけるために玄関を極力開放する。
- ・伊根町と相談しながら看板の設置も検討したい。
- ・多目的室の開放も、更に工夫して活用頻度をあげる努力をしていく。
- ・暖簾を使用してはどうか、とのご意見をいただいたのでチームで相談して、設置できるようにする。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

寿茶屋・認知症あんしんサポート相談窓口、またサロンにも参加しながら、おきなぎの家の認知度があがる努力をしている。今回よりかわら版などを発行して啓発への取り組みをはじめたところである。また、事業所のしつらえも、ご利用者の立場で、より安全を迫及して修繕や改修、また環境整備をおこなっている。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

おきなぎの家をなかなか知っていただけていないところがある。近隣の方々も接しにくいのか、あるいは「敷居が高い」と思われているのかもしれない。これも訪問していただける方が少ない理由のひとつとして捉え、今後の課題としたい。

【今回の改善計画】

おきなぎの家をもっと広く認識していただけるために看板の設置等を検討する。また安心して気兼ねなく来ていただけるよう運営推進委員にもご協力をいただきながら、環境の見直しを行っていく。

0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	0
1	職員はあいさつできていますか？	5	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	2	0	3
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	2	0	3
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	5	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

【経過】

年間をとおして、地区のイベントに参加させていただいた。中学校での体育祭や発表会、小学校との交流、地区の運動会への参加のほか、新たに地区の文化祭にブースを出展させていただくことができ、ケーキも好評をいただいた。しかし地域の住民の皆さんと一緒に何かを実施できるまでには至っていない。今後は、更に協力の輪を広げて、協力して何かをできるように計画していきたい。

- ・挨拶は、継続してこちらから積極的に声を掛けさせていただく努力をした。
- ・地域で行われるイベントや行事を把握し、事前準備をしながら積極的に参加することができた。
- ・事業所が周知されているかどうかは、引き続き職員が積極的に地域に出向くことを基本の姿勢に持ち、並行して認知症あんしんサポート相談窓口も含め、長寿苑だよりやおきなぎの家瓦版でも紹介していく。また、事業所の看板の設置を鋭意検討していく。

【意見】

・2について、「はい」とも「いいえ」とも言えない、平田では知られているが他ではあまり知られていないところもある。利用されている方やご家族の中には周りに利用していることを知られたくないと思っている方もおられるようだ。また「おきなぎ」という名前だが本来「おきなぎ」は場所が違う。

・3について、当事者ではないので分からない

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

地区によって、関わらせていただける頻度に差がある。あらためて地区の民生委員さん、ご利用者のご家族、また訪問時の地域の方々と積極的に意見を交わす機会を設ける必要がある。また、事業所として地域に向けた何らかの発信方法も検討する必要がある。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

・地域向けの発信媒体をブログ・たより・瓦版を活用したが、目に見えた成果となると、なかなか見えなかったと思う。特にご意見にもあがっていた本庄地区へのアプローチが課題として残る。

【改善計画】

各地区のイベント等を事前に把握して、計画的に地域の民生委員さんをはじめ、関係する地域の方と関わりを持たせていただく。結果、地域の方々と一緒に取り組めるイベントを1つでも増やせるようにする。

0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	0
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5	0	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5	0	0
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	5	0	0
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	5	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

【経過】

・日々、関わり合いながらお一人お一人の状況や状態に合わせた必要なサービスをご本人とご家族に提案することを心掛けてきた。また地域行事をはじめ、サロンなど必要時は、できるだけ職員も一緒に参加するようにした。

・「もう1つの家」という考えのもとにサービスを組み合わせ、あくまでも自宅での生活が中心となるようにアセスメントをしながら、ご利用者にあったサービス提供を行ってきた。

・運営推進会議に、家族代表の方をはじめ、民生委員さんや区長さんもお出席していただいて、貴重なご意見をお聞きする機会も定期的に作れている。

・天候を見ながら、散歩や自前の畑作業にお誘いできた。

・相談窓口に来られた方に、お話を伺う機会があった。

【意見】

特にご意見等はなし。同意をいただけた。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

ご本人をはじめ、そのご家族の思いをしっかり汲み取りアセスメントをして、ご利用者にあったサービスの提供を心掛けていた。

利用されている方の地域の民生委員さんに、必要時には近所の方に声掛けをしていただき、見に行ってもらったりして協力をしていただけた。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

ご利用者宅を訪問して援助をする中で、本人のできる事とできない事を随時見極めて援助を行っている。できる事を継続していただけることで、ご自身の家での役割りがいつまでもある、という意識を大切に援助を行っている。

【改善計画】

各地区の民生委員さんとの関係づくりを密にしていく。結果、必要時には一緒に自宅訪問できるくらいの協力体制を確立して、ご利用者のフォローが更に強固なものになるようにする。

0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	0
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	5	0	0
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5	0	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

【経過】

- ・運営推進会議を通して、おきなぎの家のサービスや状況を知っていただいた上で、地域との関係性づくりへのアドバイスやサポートを会議の場でお聞きできることが多くなった。今後、運営推進委員と職員で協力しながら、実際に地域に出向くことができるようにしたい。
- ・運営推進会議では、おきなぎの家の利用実績をはじめ、行事や日々の出来事など出来るだけ細かく報告するように意識している。
- ・一緒に何かを取り組むことは出来なかったが、以前にも増してご意見や質問も増え、参考にさせていただけることも多い。
- ・事例検討は、出来ておらず課題として残る。

【意見】

- ・2について、事例検討はできていないが、家族の方からの話をきかせていただいたりしている。
- ・4について、毎回出席していないので改善できているかどうかわからない。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

年6回の運営推進会議を開催できたことで、各地区の民生委員に参加していただくことができた。更におきなぎの家を知っていただける機会となったことと、地域の情報もお聞きすることができている。今後は更にご利用者以外の気になる方の話もお聞きしながら、地域でサービスが必要な方の把握ができるようにしたい。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・会議で出たご意見は、地域事情も含めて、生きた情報として大変貴重で参考になるものが多く、我々が地域に出向く際にも、円滑に入り込ませてもらったための大きな情報源となっている。またタイミングを合わせて委員の力をお借りして地域で取組みが出来ればと考える。

【改善計画】

運営推進委員のお力をお借りしながら、共同して地区に出向いておきなぎの家の啓発に繋がる取組みを1つでも実現する。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	0
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	0	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	3	0	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	0	5	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

【経過】

- ・自主訓練を含めて、年間5回実施できた。日中想定訓練と、町の防災無線による訓練にも参加させていただいた。
- ・また全職員が防災計画にしっかりと目を通して、いざという時に誰でも対応できるように声掛けを行った。
- ・今後は更に、地域との協定を結ぶなどの相談をしながら、計画的に地域の方の協力を得ながら実施していきたい。
- ・防災計画をはじめ、感染症対策や事故防止マニュアルなどを一つのファイルにして、見やすい場所に置くなどの工夫をする。
- ・災害時には要配慮者の避難場所となることを、しっかりと認識しながら訓練を行っている。非常食も常備している。
- ・津波を想定すると、おきなぎの家は立地場所が低いため、伊根町学校に避難しなければならないが、その訓練にも参加できた。

【意見】

- ・1について、防災計画の掲示が必要。指針や防犯マニュアルを作成中で作成後ファイルに挟んで玄関へ置く予定としている。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

有事の際の対応が、訓練どおりにできるためにも継続的な訓練の必要性を感じた。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

要配慮者の避難場所としての施設、またご利用されている方の安全と職員自身も安全を確保するために、準備は怠らないことが大切。
いつ起こるかわからない災害時に、地域の方々にも頼りにされる事業所となれるように普段から心掛けたいと思う。

【改善計画】

火災・津波のほかにも、様々な自然災害を想定した訓練を計画・実施する。その際には地区の方にも声をお掛けして、訓練をする際は参加や見学をしていただく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	与謝郡福祉会	代表者	理事長 古板利一	法人・事業所の 特徴	(法人理念) (事業所の特徴) 「いのちを支え いのちに支えられ いのちを育む」 もうひとつの家という考えのもと、住み慣れた家・地域で安心して生活ができるように、1つの事業所で「通い」「訪問」「宿泊」と3つのサービスを柔軟に組み合わせ、顔なじみの職員が対応することで、安心できる生活を送っていただけるように取り組んでいます。
事業所名	おきなぎの家	管理者	嶋崎福寿		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	人	1人	人	人	4人	人	9人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・外部評価をする際は、項目毎に上げている改善計画が達成出来る事、現状止まりにせず次へと踏み出していけるようにする。	日々のミーティング時間を使いながら積極的に意見交換ができた。また9項目について、自らの姿勢や考え方を発表しあえたことで自分自身の整理に繋がったこと、また他職員の考え方や、どうしてそういう行動を取っていたのかも理解しあえ、今以上に結束力の強い、職員関係が構築できたと考えている。	評価に対する振り返りをしっかり行えることで、達成できた部分と、出来ていない部分を全職員が明確に把握することができる。出来ていない部分をひとつでも達成できるように工夫と努力が求められる。全体的には出来ている方だと感じられた。	課題をしっかりと認識した上で、もう一歩達成できなかった項目を全職員で協力しながら計画的に達成する。そのために3か月に1回検討会議を持ち、達成度を確認しながら、フォローする体制を定着させる。
B. 事業所のしつらえ・環境	・寿茶屋や、認知症あんしんサポート相談窓口で来訪される方がおられるので、そこからの繋がりも大事にし、地域との関係が持てるようにする。	・寿茶屋と認知症あんしんサポート相談窓口で、来訪される方をはじめ、訪問させて頂いた際にお出会いするご家族や近隣の方々との関わりを大切に考え、積極的に関わるように心掛けた。それがきっかけで、直接ご利用登録とはなっていないが、ケースによっては包括支援センターに申し送ることができている。また継続の課題の「おきなぎの家を広く地域に知っていただく」ために、日々のこういった全職員の行動は、徐々に良い結果がでることになると考えている。	寿茶屋・認知症あんしんサポート相談窓口、またサロンにも参加しながら、おきなぎの家の認知度があがる努力をしている。今回よりかわら版などを発行して啓発への取り組みをはじめたところである。また、事業所のしつらえも、ご利用者の立場で、より安全を追及して修繕や改修、また環境整備をおこなっている。	おきなぎの家をもっと広く認識していただけるために看板の設置等を検討する。また安心して気兼ねなく来ていただけるよう運営推進委員会にもご協力をいただきながら、環境の見直しを行っていく。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>・新たな取り組みや、行事・イベント・防災訓練などする時は、地域住民と一緒にできるよう計画していく。</p>	<p>年間をとおして、地区のイベントに参加させていただいた。中学校での体育祭や発表会、小学校との交流、地区の運動会への参加のほか、新たに地区の文化祭にブースを出展させていただくことができ、ケーキも好評をいただいた。しかし地域の住民の皆さんと一緒に何かを実施できるまでには至っていない。今後は、更に協力の輪を広げて、協力して何かをできるように計画していきたい。</p>	<p>地区によって、関わらせていただける頻度に差がある。あらためて地区の民生委員さん、ご利用者のご家族、また訪問時の地域の方々と積極的に意見を交わす機会を設ける必要がある。また、事業所として地域に向けた何らかの発信方法も検討する必要がある。</p>	<p>各地区のイベント等を事前に把握して、計画的に地域の民生委員さんをはじめ、関係する地域の方と関わりを持たせていただく。結果、地域の方々と一緒に取り組めるイベントを1つでも増やせるようにする。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み</p>	<p>・ご利用者が住んでおられる地域の民生委員と職員との関係づくりができ、社会資源の1つとして、困った事などがあれば相談でき一緒に自宅訪問ができるよう、協力体制をつくる事と、事業所と地域住民との関係が深まるようにする。</p>	<p>・日々、関わり合いながらお一人お一人の状況や状態に合わせた必要なサービスをご本人とご家族に提案することを心掛けてきた。また地域行事をはじめ、サロンなど必要時は、できるだけ職員も一緒に参加するようにした。</p> <p>・「もう1つの家」という考えのもとにサービスを組み合わせ、あくまでも自宅での生活が中心となるようにアセスメントをしながら、ご利用者にあったサービス提供を行ってきた。</p> <p>・運営推進会議に、家族代表の方をはじめ、民生委員さんや区長さんもお出席していただいて、貴重なご意見をお聞きする機会も定期的な作られている。</p>	<p>ご本人をはじめ、そのご家族の思いをしっかり汲み取りアセスメントをして、ご利用者にあったサービスの提供を心掛けていた。</p> <p>利用されている方の地域の民生委員さんに、必要時には近所の方に声掛けをしていただき、見に行ってもらったりして協力をしていただけた。</p>	<p>各地区の民生委員さんとの関係づくりを密にしていく。結果、必要時には一緒に自宅訪問できるくらいの協力体制を確立して、ご利用者のフォローが更に強固なものになるようにする。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>・運営推進委員に協力してもらい、地域を巻き込んで何か1つでも事業所として貢献できるようにしていく。又、行事や、災害訓練など参加してもらえりような機会をつくる。</p>	<p>・運営推進会議を通して、おきなぎの家のサービスや状況を知っていただいた上で、地域との関係性づくりへのアドバイスやサポートを会議の場でお聞きできることが多くなった。今後、運営推進委員と職員で協力しながら、実際に地域に出向</p>	<p>年6回の運営推進会議を開催できたことで、各地区の民生委員に参加していただくことができた。更におきなぎの家を知っていただける機会となったことと、地域の情報もお聞きすることができている。今後は更にご</p>	<p>運営推進委員のお力をお借りしながら、共同して地区に出向いておきなぎの家の啓発に繋がる取り組みを1つでも実現する。</p>

		くことができるようにしたい。	利用者以外の気になる方の話もお聞きしながら、地域でサービスが必要な方の把握ができるようにしたい。	
F. 事業所の 防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所に来て頂けるきっかけの1つとして、おきなぎの家が避難場所と設定し、避難して頂けるよう合同訓練を計画していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主訓練を含めて、年間5回実施できた。日中想定訓練と、町の防災無線による訓練にも参加させていただいた。 ・また全職員が防災計画にしっかりと目を通して、いざという時に誰でも対応できるように声掛けを行った。 ・今後は更に、地域との協定を結ぶなどの相談をしながら、計画的に地域の方の協力を得ながら実施していきたい。 	<p>有事の際の対応が、訓練どおりにできるためにも継続的な訓練の必要性を感じた。</p>	<p>火災・津波のほかにも、様々な自然災害を想定した訓練を計画・実施する。その際には、地区の方にも声をお掛けして、訓練をする際は参加や見学をしていただく。</p>

